水道料金、下水道使用料などの大幅な負担増、多額の自治体負担を前提とする 上野東京ライン停車に関わる議案に日本共産党は反対

川口市議会9月定例会に提案された令和7年度川口市一般会計補正予算では、川口駅西口施設等改修計画支援業務委託料について、4月24日のJR東日本と川口市との間で結ばれた上野東京ラインの川口駅停車に関する基本協定のもと、駅西口の下水道や道路などの一部移設、駅西口駐輪場の一部除却などの工事を効率的かつ経費縮減につながるよう業者に検討させるためのもの、また債務負担行為補正として川口市が負担金を払いJR東日本がおこなう自由通路整備に伴う測量・地質調査業務について年度内の契約締結のためのものがそれぞれ提案されました。

日本共産党川口市議団はかねてより、川口駅利用者の利便性向上や京浜東北線の異常な混雑の緩和のために中距離電車の停車については必要であるという立場であり、一方でそのことはJR東日本が費用負担して行うべきものであり、川口市の負担が多額とならないよう繰り返し求めてきました。そうした立場からそれぞれに反対しました。

また、県水値上げなどに伴い水道料金は平均26.74%、下水道使用料は流域下水道の維持管理負担金及び建設負担金の増額に伴い平均27.16%の引き上げにかかわる議案は、今回の改定では水道料金、下水道使用料ともに改定前とおなじ量をつかった場合、すべての人が負担増となり、また基本水量の廃止で少しでも使えば水道も下水も従量料金がかかるようになってしまうもので反対しました。

そもそも水道事業、下水道事業については地方公営企業法に基づいて独立採算を強いているもので、節水機器の普及や水道管、下水道管の老朽管の更新、労務単価の引き上げなど考えれば水道料金、下水道使用料はこの仕組みが続けば負担増が続いてしまいかねません。

川口市議会が全会一致で意見書をあげたことも力となってか、国は水道、下水道事業 に様々な補助金を用意するようにはなってきましたが、公的責任や市民負担を考えれば、 それぞれ承服しがたいような要件がつけられていて、なかなか活用できない状況もあり



2025年10月5日

No.1808

日本共産党川口市議会議員団

川口市前川 2-28-10

TEL.267-8411 FAX.261-3528 https://www.kawaguchi-jcp.jp/

金子ゆきひろ 松本さちえ 板橋ひろみ ふじしまともこ

ます。そうした要件なしにきちんと財政的支援をするよう国に声を上げることが必要です。 そして独立採算が強いられるもとで、命にかかわる水を所得が低いことによって使用の制限がされないよう、さいたま市のように水道料金・下水道使用料の減額制度を作るべきであり、下水道事業においても一般会計からの繰入を維持して下水道事業の推進をしながら、負担増とならないように運営すべきです。

9月議会では使用料・手数料の見直しに関する基本方針に基づく住民票や納税証明書、 放課後児童クラブ利用料、自己搬入される廃棄物及び動物死体の処理手数料と一般廃棄 物の処理や運搬、浄化槽清掃業などの許可手数料、建築台帳の記載事項を証する書面な どの交付事務の手数料などを改定する議案も出されましたが日本共産党は反対しました。

そもそもこの基本方針は、住民からより多くの税外収入を得ることを目的にしており、さらに受益者負担という名目で負担増を推し進めるものです。

決算審査特別委員会が開催されます

9月市議会の閉会日に令和6年度の川口市決算審査特別委員会が設置されました。10月に特別委員会が予定されています。

決算委員会の委員と日程をお知らせしますので、傍聴にお出かけください。

一般会計・各種特別会計決算審査特別委員会 松本さちえ議員/ふじしまともこ議員

10月 14日 火 総務常任委員会の所管

15日 水 福祉保健常任委員会の所管

16日 木 環境経済文教常任委員会の所管

17日 金 建設消防常任委員会の所管

20日 月 歳入

企業会計決算審査特別委員会 金子ゆきひろ議員

10月 14日 火

病院事業会計•水道事業会計

下水道事業会計

※委員会はいづれも10時から開催されます。

原水爆禁止2025年世界大会 川口報告集会

9月27日(土)「原水爆禁止2025年世界大会」川口報告集会が原水爆禁止川口市協議会の主催で開かれました。参加者はギターの伴奏付きで平和の歌をみんなで歌って始まりました。

主催者挨拶の後、スライド上映で「はだしのゲンがつたえたいこと」が上映されました。「はだしのゲン」の作者である漫画家の中沢啓治先生が出演して自らの体験を話してくれるものです。それ



は「はだしのゲン」に描かれた世界であり、原爆投下前からすでに食べるものが乏しくイナゴを獲って食べていたことや、反戦主義の父が特高に連行されたことや原爆投下の日とその翌日、その後どう暮らしていたかまで。先生は被爆当時6歳ですが恐ろしい状況をしっかり見ていたようで克明に話してくれます。熱のこもった話し方に会場の皆が引き込まれました。最後に先生は「次の世代が、平和がいかに大切であるか分かってくれたら役割を果たせたと言える」と言っていました。

スライド上映の後には、今年の原水爆禁止世界大会に参加した新婦人川口の代表 者、ふじしまともこ市議、板橋ひろみ市議、松本さちえ市議、金子ゆきひろ市議の5名



がそれぞれ順番に報告をしました。共産党川口市議団は今年は原爆投下80年なので広島と長崎両方に2人ずつ参加しました。

最後に山崎すなお県議からも、平和の取り組みや思いなどが語られました。

令和7年10月1日から 窓口受付時間・休所日が変わります。

川口市は、行政手続きのオンライン化などを推進してきました。市民のみなさんが窓口に行かずにできる手続きを増やし、より便利な市民サービスを提供できる環境を整えるためとして証明書の交付など受付時間の変更を広報しています。

【対象施設および窓口受付時間】

第一本庁舎/第二本庁舎/第三庁舎(旧第2庁舎)/鳩ヶ谷庁舎/各支所朝日・戸塚環境センター/水道庁舎/消防局

変更前

8時30分~17時15分



変更後 9時00分~16時30分

川口駅前行政センター/東川口駅前行政センター

変更前 平日

8:30~20:00

土・日曜日 8:30~17:00

祝日 8:30~17:00

変更後

平日 9:00~20:00

9:00~16:30

祝日 休所

土•日曜日

- *電話対応の時間は変更しません。
- *文化・スポーツ施設、図書館、公民館などの施設の利用時間に変更はありません。

市は市議会に対し、これまで職員が窓口の準備や片付けといった時間外勤務を行ってきたこと、職員同士の情報共有や打ち合わせ時間の確保が課題となっており見直しの検討を進めてきたとの説明もしています。

業務の準備や残務整理に要する時間を勤務時間内に位置付けることは当然ですが、 執務時間の変更によって市民サービスの後退はあってはなりません。円滑な業務の遂 行と市民サービスの質的向上や労働環境の適正化を図るためにも、丁寧に市民や職 員の声を聞き、勤務時間及び開庁時間の検証などすすめ対応することが必要です。